



成果報告会資料 川越市

幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業

川越市教育委員会

● 目次

- 01 川越市の幼保小連携
- 02 開発会議等の体制づくり
- 03 架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス
- 04 教師の指導・援助及び子供の学びの変化
- 05 持続可能な取組とするために

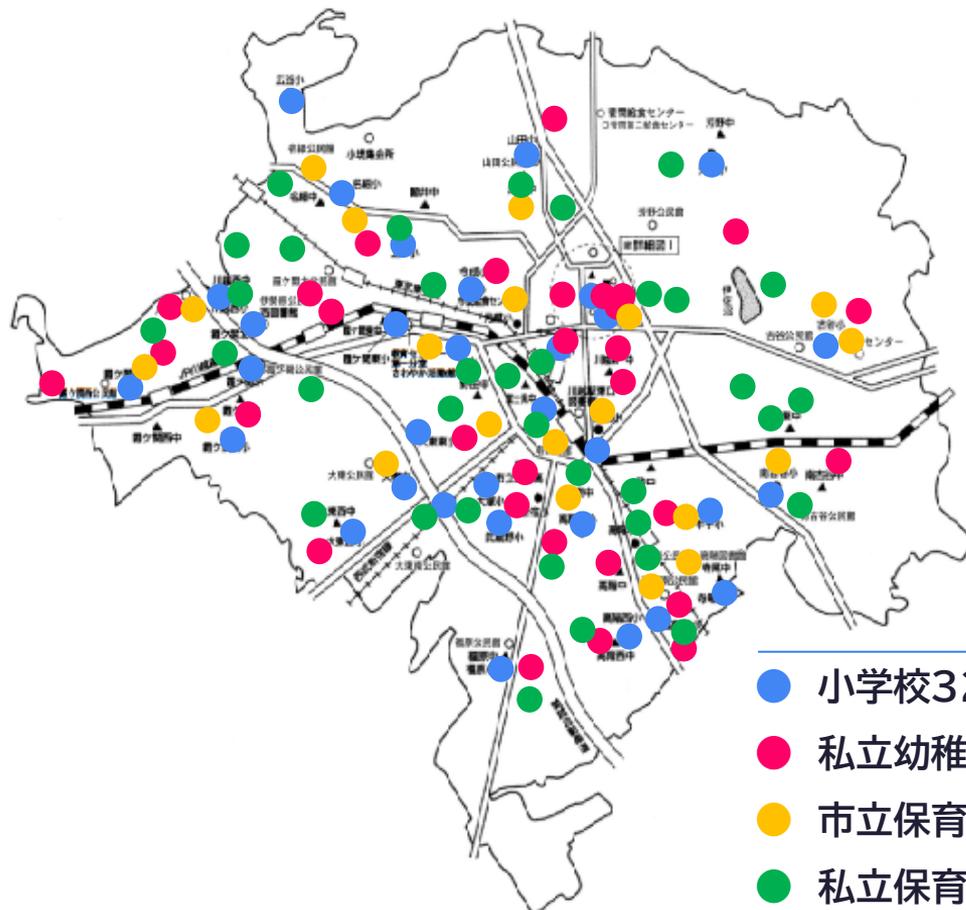
川越市の幼保小連携



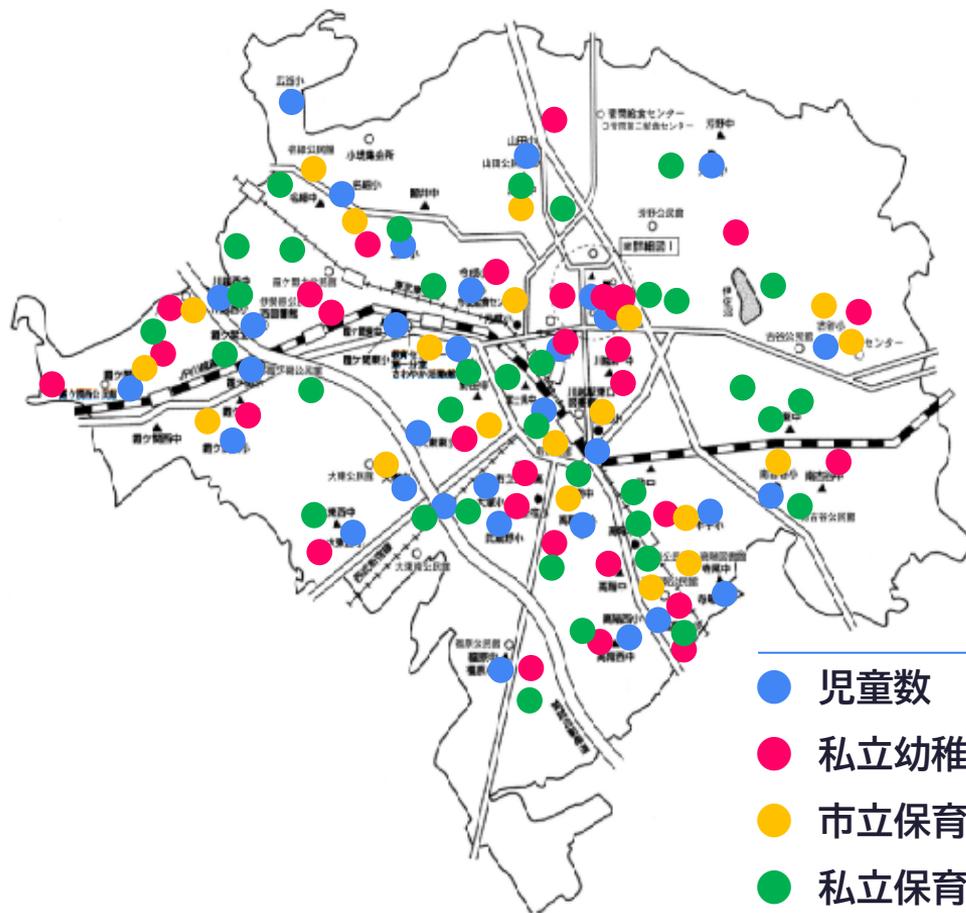
川越市

面積 109.13km²
人口 35万人超

平成15年に埼玉県内で初めて中核市へ移行。
令和4年12月に市制施行100周年を迎えた。



- 小学校32校
- 私立幼稚園・認定こども園30園
- 市立保育所20園
- 私立保育所41園
- その他小規模保育施設や事業所内保育所



● 児童数	16,908人
● 私立幼稚園・認定こども園	4,363人
● 市立保育所	1,545人
● 私立保育所	3,012人

※令和6年7月1日現在

幼保小連携の柱



幼児教育 振興審議会

市教育委員会の幼児教育振興を推進する要。



川越市ときも 学びのプロセス

幼保小の連携への理解を図るためのリーフレット。



子供の よりよい成長を 考える研修会

幼保小の連携を推進するための職員向け合同研修会。



幼保小連絡 懇談会

幼保小の職員の交流。保育や教育の参観。

川越市ときも学びのプロセス



リーフレットの特徴

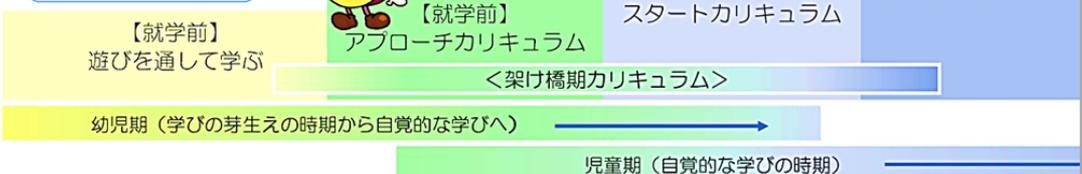
- 園・小学校の教職員向けリーフレット
- 幼保小の子供の育ちと学びをつなぐために
- 幼児期から学齢期への子供の学びの姿を整理
- 「幼児期の終わりまでの育ってほしい姿」を共有
- 家庭用として簡易版を作成
- 市HPに掲載



子どもの発達や学びは、幼児期から児童期を通じて連続し、さらに将来にもつながっていきます。

一人ひとりの子どもの発達や学びを、切れ目のないようにつなぎ、次の段階で一層発展できる教育・保育を目指すために「ときも学びのプロセス」を活用していきましょう。

幼稚園・保育園・小学校・保護者がつながり、子ども一人ひとりの安心を大切にします。



■子どもの育ちや学びの見通しをもつために「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有しましょう。



- (1)健康な心と体
- (2)自立心
- (3)協同性
- (4)道徳性・規範意識の芽生え
- (5)社会生活との関わり
- (6)思考力
- (7)自然との関わり・生命尊重
- (8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- (9)言葉による伝え合い
- (10)豊かな感性

遊んだ後に手を洗いました。これは、(1)と(2)の姿につながりますが、水道前で並んだり、自分より幼い子を手伝ったりする活動によって、(5)の姿にもなっています。小学校入学後は、この姿を土台として、「健康的な生活習慣」や「学校や集団生活への安心感」、「よりよい人間関係の形成」に繋がります。ごっこ遊びをしました。これは、(9)・(10)の姿につながりますが、花や動物の像になりきったり、登場人物に共感して表現を工夫したりする活動によって、(7)や(8)の姿にもつながっています。この姿は、小学校入学後に「命への畏敬の意」や、「自分の伝えたいことを表現する力」や「心」を育てる土台となっています。紙粘土で制作をしました。作品を作る活動によって(6)や(8)の姿につながっていることがわかりますが、友達と見せ合ったり意見を言い合ったりすることで(3)の姿となり、道具の正しい扱いやルールを守る指示を理解して進めることで(4)の姿にもつながります。小学校入学後は、「好奇心や探究する姿勢」を表現したいという思いを基に工夫して表現する力「豊かな想像力」につながっていきます。 ※詳細は裏面参照

視 点	0～1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	小学
健康な生活	<ul style="list-style-type: none"> ○健康で安全な環境で心地よさを感じる。 ○正しい生活リズムを整えながら過ごす。 ○遊びや生活の中で体を動かす。 ○食品や調理形態に慣れ、食への意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に過ごせるようになる。 ○身の回りのことを自分でしようとする。 ○健康な生活リズムを身に付け始める。 ○楽しんで食事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣を身に付ける。 ○身の回りのことや生活に必要なことを自分でしようとする。 ○食品に興味をもち、食事を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康や安全に興味をもち、基本的な生活習慣を身に付ける。 ○身の回りや生活に必要なことがわかり、見通しをもって行動しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康や安全に興味をもち基本的な生活習慣を身に付け、見通しをもって行動する。 ○食事を楽しみながら身体と食べ物との関係を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康への興味 ○健康的な生活 ○学校生活への意欲 ○食への感謝 ○命への畏敬の意
他者との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○安心感をもって過ごし、穏やかな生活を経験する。 ○人と触れ合う心地よさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心感のある生活の中で、信頼関係を築く。 ○自分の気持ちを安心して表現できるようにになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的な活動を援助されながら、探索意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と認め合える信頼関係を築く。 ○様々な経験を通して自信をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思いやりや自分の役割について考えをもつ。 ○主体的に活動し、自分に自信をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的な学習意欲 ○自己肯定感 ○学校や集団生活への安心感 ○よりよい人間関係の形成
	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な人と親しみ、関わりを深めて愛着関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大人との安定した関係の中で、友達と過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大人や友達と関わりをもって遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な友達と関わりを深めるとともに、生活のきまりの大切さに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と活動する中で共通の目的を見い出し、協力してやりとげようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な他者との関わりによる人間関係の形成 ○よりよい人間関係の形成
	<ul style="list-style-type: none"> ○安心してできる環境で五感を豊かに育て、好奇心をもち自然の中で遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然と触れ合う中で、様々なこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然などの身近な環境に関心をもち、遊びや生活に取り入れるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然など様々な環境に積極的に関わり、工夫を凝らす活動が楽しめるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然や身近な環境との関わりの中で感性、認識や表現力を豊かに育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな感性の発揮 ○関わりによる成長

子供のよりよい成長を 考える研修会



研修会の特徴

- 目的 幼児期から子供の発達についての理解を深め、発達段階に応じた指導方法を工夫改善するとともに連携を図る。
- 対象 市立小学校教員（各校1名の悉皆研修）
※幼稚園・保育所・認定こども園は希望
- 時期 年1回(夏季)
- 形態 講演とグループ協議

幼保小連絡懇談会



懇談会の特徴

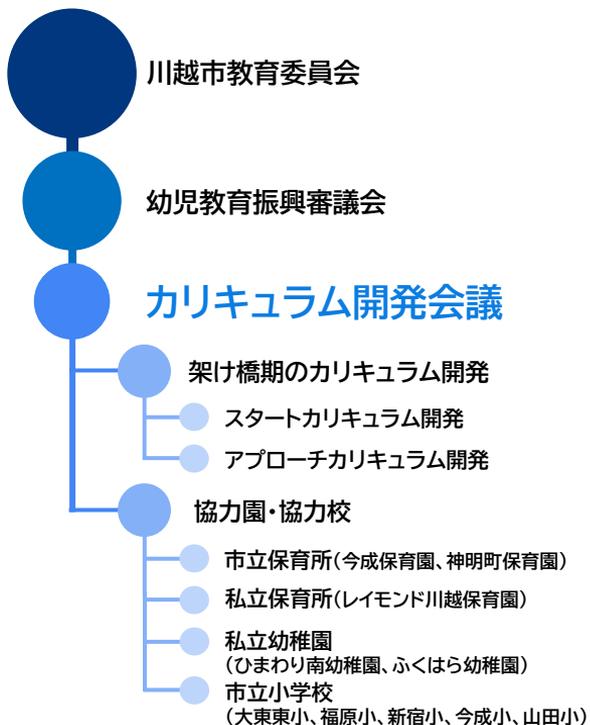
- 目的 幼稚園、認定こども園、保育所及び小学校低学年の保育や教育の現状を相互に知ることによって幼児教育や小学校低学年教育について理解を深め、その充実を図る。
- 対象 市立小学校・幼稚園・保育所・認定こども園
(原則管理職を含む2名)
- 時期 年1回 1月下旬から2月
- 形態 市内を6つのグループに編成(近隣を基本とする)
授業参観とグループ協議

※今年で47回目となる懇談会であり、本市の幼保小連携の要である。

開発会議等の体制づくり



架け橋期のカリキュラム開発会議



体制づくり

● カリキュラム開発会議の構成

- 幼児教育の専門家(大学教授等 2名)
- 保育所の代表(園長 1名)
- 幼稚園の代表(園長 1名)
- 小学校の代表(校長 2名)

● 協力園・協力校

- 様々な施設類型(公立・私立・幼保・大規模・小規模等)による研究
- 公立だけでなく、私立幼稚園・認定こども園協会や、私立保育園協会との連携が重要である

3年間の調査研究の流れ

学びの連続性をふまえた未来につながる力の育成

1年目
R4

カリキュラム開発会議
幼児期の育ちと学びを研究

- 協力園(4園)
- 幼児教育・保育の工夫

2年目
R5

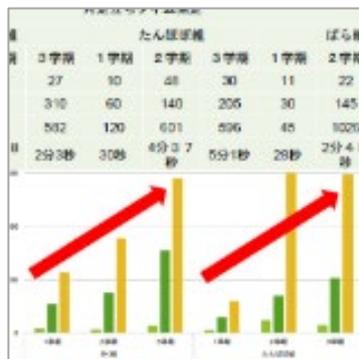
カリキュラム開発会議
幼保小の連携モデルを研究

- 協力園+協力校(4園・4小)
- 連携モデルとして連携会議を行い、架け橋期のカリキュラム(先行モデル)を開発(R6は実践へ)
- R4の園の研究を小学校で検証

3年目
R6

カリキュラム開発会議
横展開に向けた研究

- 新たな協力園+協力校(1園・1小)
- 2年間の研究を基に架け橋期のカリキュラムを作成・実践するとともに、スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムを工夫改善して実践
- 開発会議においてカリキュラム(先行モデル)を基に、川越市の各カリキュラム例を開発



私立幼稚園

ひまわり南幼稚園

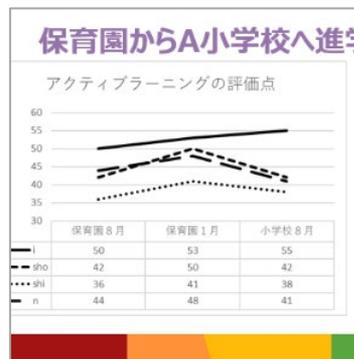
- 非認知能力と認知能力の一体的な育成
- 様々な遊びの要素を加えて運動し体幹の育成



私立幼稚園

ふくはら幼稚園

- 園児の言語能力に着目した「聞く力」の育成
- 幼小での指導者の評価視点の違い等を考察



私立保育所

レイモンド川越保育園

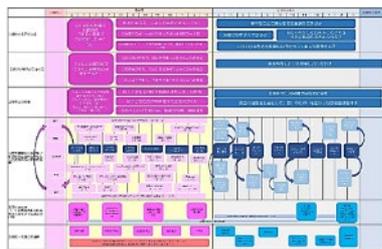
- アクティブ・ラーニングの視点を保育に取り入れる
- 一人一人の追跡調査を保育に生かす



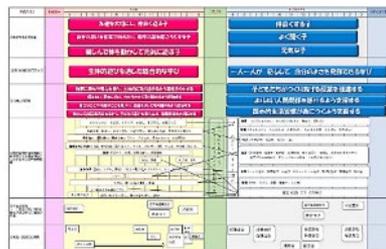
市立保育所

川越市立今成保育園

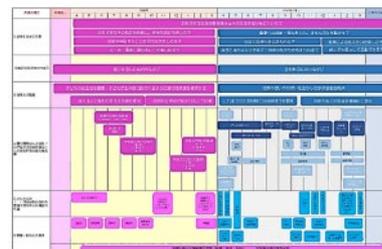
- 遊びを通した学びと表現する力の育成
- 様々なからだづくりを意識した保育



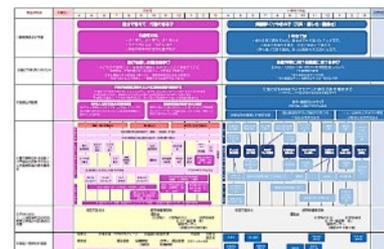
ふくはら幼稚園 × 福原小



今成保育園 × 今成小



レイモンド川越保育園 × 新宿小



ひまわり南幼稚園 × 大東東小

4つの架け橋期のカリキュラム(先行モデル)

- 各園・小で連携を推進するために、年3回以上の「連携会議」を実施
- 各園・小の実態に応じた「架け橋期のカリキュラム(先行モデル)」を開発
- 令和4年度の園での研究を、小学校で検証し共有
- 先行モデルの研究内容を市内で共有(研究発表会を実施)

3年目
R6

横展開に向けた研究

架け橋期カリキュラム (〇〇保育園・〇〇幼稚園・〇〇認定こども園/〇〇小学校)

架け橋期カリキュラム (〇〇保育園・〇〇幼稚園・〇〇認定こども園/〇〇小学校)

架け橋期カリキュラム (〇〇保育園・〇〇幼稚園・〇〇認定こども園/〇〇小学校)

協力園 神明町保育園 × 協力校 山田小

2年間の成果を課題を生かして

- 2年間の研究をもとに、「川越市架け橋期のカリキュラム例」を開発
- 架け橋期のカリキュラムを、実際の保育や指導に生かすことができるように、「スタートカリキュラム」と「アプローチカリキュラム」を工夫改善
- 3年間の研究成果を市内で共有(研究発表会)
- 各カリキュラム例を、全園・全小学校へ周知

架け橋期のカリキュラムの概要 及び作成プロセス

川越市アプローチカリキュラム

川越市アプローチカリキュラム例（公立保育園をベースにしています）

5 領域	保育の視点	1月	2月	3月	小学 1年	
健康	みんなと一緒に楽しく食べる 調理活動を楽しむ 体をつくる食事の大切さを知る 体を思いきり動かす 健康・安全な生活に必要な習慣を身に付ける 交通ルールを守り、散歩や園外保育をみんなで楽しむ 物を大切にし、自分のことは自分でする	給食（毎日）	三色栄養群・加-作り	散歩・集団遊び・鬼ごっこ等（毎日）	避難訓練（月1回）	生きる力 知識及び技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性
	小さい子に思いやりを持ち、やさしく関わる 自分の思いや考えを伝え、相手の話を聞く ルールを守り、友だちと協力し合い活動する 主体的な活動を楽しみ、やり遂げた達成感をみんなと喜び合い、自己肯定感を持つ 小学校入学にむけて期待をもつ	散歩・園外保育（適時）	お手伝い・小さい先生・異年齢活動等（毎日） 生活発表・グループ作り・話し合い等（毎日）	制作 当番・行事にむけての取り組み・当番引継ぎ等（毎日）	お別れ会・卒園式等	
環境	数量・図形・曜日・時間等関心をもって生活をする 行事を通して伝統文化を知る 自然や動植物を身近に感じ、関心を持つ 色々な活動を通して体の使い方を体験する	年中行事	プラネタリウム 虫とり（適宜）	いちご狩り		
	先生や友だちの話を聞いて理解する 自分の経験したことや考えをみんなに伝える みんなの前で発表する 伝承遊びを楽しむ 生活や絵本を通して文字や数量に関心を持つ	かるた・すごろく等（適時）	朝の会・話し合い等（毎日）	トランプ・あつまれ遊び・当番カード等（適時）		
表現	友だちと話し合いをしながらイメージを共有し、劇あそびを楽しむ 友だちと一緒に物語をイメージしながら歌うことを楽しむ 歌や音楽に合わせて楽しく、しなやかに体を動かす 楽しかった経験やお話の絵をイメージ豊かに描く 指先を使い細かな制作を最後まで仕上げ	森は生きている・エルマーの冒険等（週3回程度） わらべうた・集団リズム・民舞・太鼓等（週3回程度） 凧つくり	マーカー・絵の具等 鬼の面・おひなさま	雑巾縫い・卒園制作		

遊びを通しての 総合的な指導を可視化して

- 市立保育所を基本として、幼稚園・認定こども園・私立保育所も参考にできるモデルとして作成
- 5歳児の時期において、どのような育ちや学びがあるのかを、5領域を基に「保育の視点」と「具体的な活動」で整理
- 架け橋期のカリキュラムで2年間を見通した上で、より具体的に幼児期の育ちや学びを共有する

川越市スタートカリキュラム

川越市立〇〇小学校スタートカリキュラム週案 (案)

資料1

近のあて(例) 1年生になった嬉しさを素直に感じ、大きくなった喜びを感じながら、学校で過ごすことができる。

日	月	日	火
朝の会	みんななかよし の時間 一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を築いていくことをわらわした活動		
1時間め	つなげよう の時間 合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習活動		
2時間め	ひろげよう の時間 教科等を中心とした学習活動		
のびのび	体を動かそう 学習の前に体を動かすことで、集中して取り組むことができるようにする活動		
3時間め	学習指導		

朝の会から1時間目を連続した時間とし、幼児期に親しんできた遊びや活動・交流する活動を位置付け、楽しい気持ちで1日がスタートできるようにする。

みんななかよし
児童の思いや願いをききかけして
あそぶ学び

学校ってどんなところかな
校庭にも行ってみたい
校庭にはこんなものがあつたよ

小学校での学習や生活に慣れていくための工夫
幼児期の発達や学びを土台とし、児童が興味・関心をもったことを一人一人のペースで追究していくような、ゆとりとした時間の中で、少しずつ小学校での学習や生活に慣れていけるための工夫を行う。食後、朝の支度を済ませ、友達と話し合って自由に選べる時間を設定したり、幼児期に親しんできた遊びや活動を取り入れたり、友達と仲間交流する活動を行ったことなどで、楽しい気持ちで1日の学校生活を始めることができるようにする。

連続性と異質性
児童が安心して学校生活を楽しむことができるように、一定の期間は同じ学習内容を繰り返す連続性と異質性を意識する。

思いや願いの実現に向けた主体的な学び
児童の思いや願いの実現に向けた主体的な学習がつながるように、生活科を中心としたつながりのある他教科等のわらわを考えながら合科的・関連的な指導を行う。

児童の発達の特性に配慮
入学当初の児童の発達の特性に配慮し15分程度の短い時間を利用して時間割を構成し、児童が自らの思いや願いの実現に向けた活動をゆとりとした時間の中で進めていけるように学習活動を2時間程度で設定したり、具体的な活動の枠や学習活動を位置付けたりしていく、モジュールの形で、時間を構築する。

【実施した後の振り返り】
①15分モジュールにしたことで、「トイレに行っていないですか?」などがなくなった。
②データとして各教室に送って、学校ごとに作り変えられるようにする良い。
③同じ1時間中で、横断的に計画するのは良い。(1週間のスケジュールで、同じ時間と同じことをする)

川越市〇〇小学校スタートカリキュラム週案 (案)

第2週 (4月16日～4月20日)

近のあて(例) 1年生になった嬉しさを素直に感じ、大きくなった喜びを感じながら、学校で過ごすことができる。

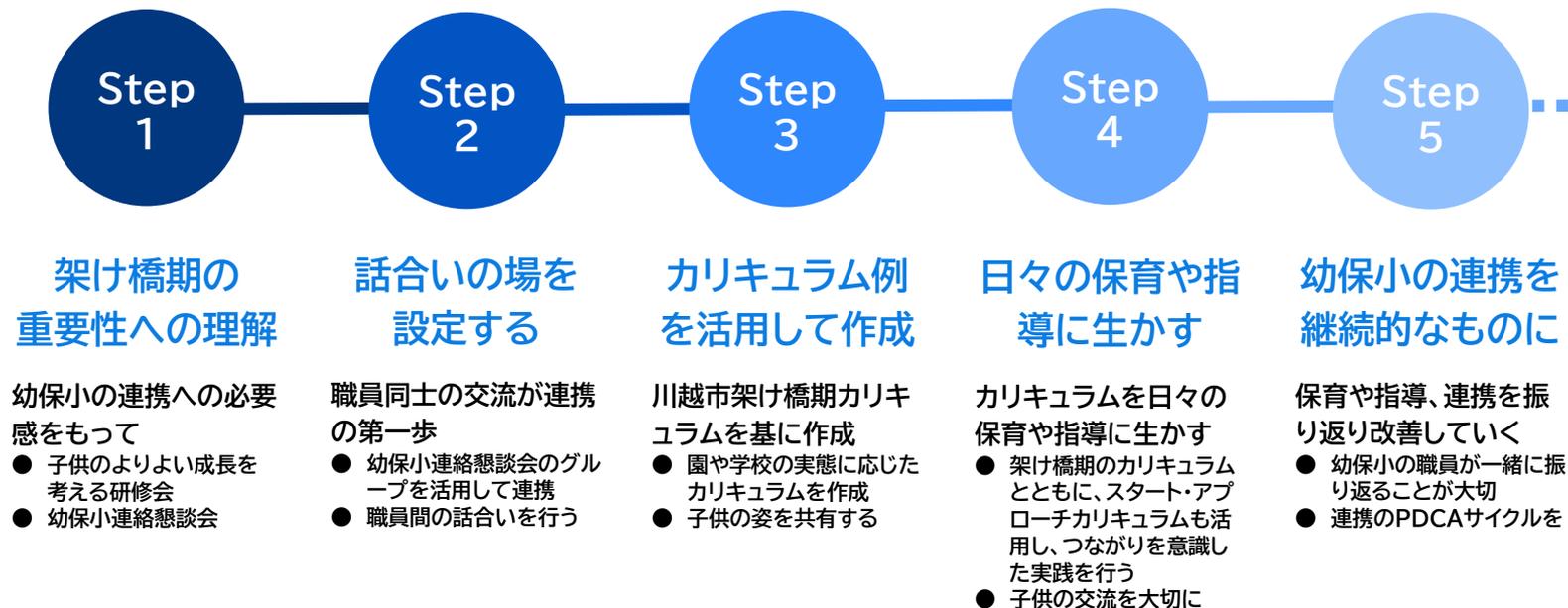
月	日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
曜日		月	火	水	木	金	土
よてい	3日課	3日課	4日課	4日課	4日課		
朝の会	奇校して、朝のしたくをしよう。終わった人から道ぼう!						
朝の会	健康観察(自分の身体の様子を伝えるようにする。)						
1時間め	みんななかよし みんななかよし みんななかよし みんななかよし みんななかよし						
1時間め	いそいそタイム(体育の時間、ボール遊び、ソフトボール、ケンストップ/リング)、ボール感し						
2時間め	どうしては いがあるかな	どうぞよろしく なにかいがあるかな	どうぞよろしく なにかいがあるかな	どうぞよろしく なにかいがあるかな	どうぞよろしく なにかいがあるかな	どうぞよろしく なにかいがあるかな	どうぞよろしく なにかいがあるかな
2時間め	あそぼう	くらべたことが あるかな	くらべたことが あるかな	くらべたことが あるかな	くらべたことが あるかな	くらべたことが あるかな	くらべたことが あるかな
のびのび	体育朝会			体育朝会			
3時間め	たんていぼうが かかっている つたよ	かかっている つたよ	かかっている つたよ	かかっている つたよ	かかっている つたよ	かかっている つたよ	かかっている つたよ
3時間め	実習計画(例「まな(つぼ)」をする 一学期の方針と方策を考える			実習計画(例「まな(つぼ)」をする 一学期の方針と方策を考える			
4時間め	お話し合い どらかな			お話し合い どらかな			
4時間め	絵画準備						
きゆうしよく ひるやすみ	給食			給食			
そらじ							
5時間め							
朝の会							
げごうじこく	11:30	11:45	13:15	13:00	13:00		
時数	開校	2.2	音楽	0.7	道徳	0.5	
	算数	1.5	図画工作	0.0	学級活動	0.0	
	生活	2.5	体育	3.2	学校行事	2.0	

育ちと学びのつながりを 可視化するために

- 小学校に入学した子供たちがスムーズに小学校の生活や学びに適應できるように、市内の全校が参考にできるモデルとして作成
- 絵本の読み聞かせや身体を動かす時間、歌を楽しむ時間など15分ずつ時間を区切って学習するモジュール制
- 第1週から第5週までの期間
- 小学校の生活に慣れ、「学校は楽しいところ」を実感できるように

作成のプロセス

カリキュラム作成がゴールではなく、実質的な連携や実践につなぐために



教師の指導・援助及び 子供の学びの変化

教師の指導・援助の変化



教職員の交流が意識を変える

「教職員の交流」を通して、架け橋期のカリキュラム等を協働して創り上げる中で、幼保小の連携の「大切さ」や「必要感」への意識が変わる。

- 幼保小の連携においては「教職員の交流が大切である」と改めて意識するようになった
- 幼保小それぞれの、子供の育ちや学びには、どのような経験があるのかを共有することができた
- 「連携してよかった」という実感

教師の指導・援助の変化



子供の経験を 生かした指導へ

「教職員の交流」や「架け橋期のカリキュラム等」で、子供の経験を共有したことで、より子供の経験を生かした指導に変わっていく。

- 子供たちの園での経験を意識して読み聞かせ、歌、運動、遊びの要素をスタートカリキュラムに生かして指導することができた
- 「園でやったことある?」「〇〇したことある?」経験をさらに共有するために声掛けが変わった

教師の指導・援助の変化



一人一人の 育ちと学びを柔軟に

幼保小の連携が、改めて子供たち一人一人の育ちと学びをていねいに見取り、柔軟にカリキュラムや指導を工夫していくように変える。

- スタートカリキュラムで、モジュールでの活動
- 幼児期での経験を生かした指導
- 子供たち一人一人を見取る意識や指導は、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現するための土台となる

子供の学びの変化



小学校入学への 安心感と期待感

「教職員の交流」や「子供同士の交流」が、小学校入学への子供の意識の変化につながる。

- 入学先に限らず、小学校という場を知る機会が小学校を「身近に感じる」という安心感や期待感につながった
- 自分の気持ちを伝えることだけでなく、自分の話を友だちが聞いてくれる嬉しさや、友だちの話を聞く大切さを実感した

子供の学びの変化



経験を生かした 学校生活のスタート

「スタートカリキュラム」で、園での育ちや学びの経験が、小学校でも生きることが実感できる授業での学校生活のスタートにつながる。

- 幼児期での読み聞かせや運動や遊びの延長線上に、小学校の授業があることが、学習への安心感につながり、学習への意欲や自信となった

子供の学びの変化



安心した環境の中で 人間関係を築き学ぶ

「スタートカリキュラム」で、学校生活のスタートにつまづかないことで、安心した環境の中で人間関係を築き、学びを広げていく。

- 幼児期の経験を、生活科を中心に様々な教科の学習に生かすようになった
- 「学校は楽しい」という気持ちが意欲・主体性・自信につながり、不登校が減少

持続可能な取組とするために



持続可能な取組とするために

- 教職員の意識の変化を更なる連携へとつなぐ
- ベースとなる各カリキュラムを活用し横展開を
 - 川越市架け橋期のカリキュラム
 - 川越市スタートカリキュラム
 - 川越市アプローチカリキュラム
- 47年目を迎える幼保小の連携
 - 幼保小連絡懇談会を中心に

**幼保小がお互いを認め、尊敬し合う
持続可能な連携を推進し、未来につながる力を育む**



Kawagoe City Board of Education
川越市教育委員会